



## 災害に強いまちづくりのモデル拠点へ

～ トレーラーハウスによる宿泊施設が災害対応機能を強化してリニューアルオープン

隣接する「湯っ蔵んど」無償譲渡の契約候補者にも選定、相乗効果を目指す ～

株式会社カンバーランド・ジャパン（本社：長野県長野市、代表取締役：原田英世）は、須坂市で運営する宿泊施設「須坂健康の森 RV リゾート」をリニューアルオープンします。本施設は、2023年5月に須坂市と締結した災害時協定に基づき、市の遊休地を活用して整備を進めてきた施設です。今回、トレーラーハウスによる宿泊棟を増設するとともに、可搬式充電設備（大容量蓄電池）や受水槽などを導入し、災害時に電気・水道などのライフラインが寸断された場合にも活用できる体制を整備します。

さらに、須坂健康の森 RV リゾートに隣接する温泉施設「湯っ蔵んど」について、株式会社アールエステー、岡田産業株式会社、株式会社カンバーランド・ジャパンの3社で構成する一般社団法人 MyQOL 健幸倶楽部が、無償譲渡に係る契約候補者として選定されました。今後は、RV リゾートと湯っ蔵んどを含めた一帯を、平時は地域振興・滞在交流の拠点として、災害時には地域の支援拠点として機能するエリアへ発展させ、新たな防災まちづくりのモデルケースとして全国へ発信していきます。

### トレーラーハウスによる宿泊施設の役割 ～災害時協定に基づく、平時活用型の防災備蓄拠点～

トレーラーハウスは、工場で製造した完成品をけん引して運び、現地で設置できることから、災害時には福祉避難所、応急仮設住宅、集会所、店舗などとして迅速に活用できます。令和6年能登半島地震においても、当社製トレーラーハウスは応急仮設住宅などとして被災地で活用され、被災された方々の生活再建に役立てられました。

一方で、災害時にトレーラーハウスを迅速に提供するためには、できるだけ多くの数を備えておくことが必要です。しかし、平時に使用しないまま保管するだけでは、維持管理や保管場所の確保が課題となり、持続可能な備蓄体制をつくることは容易ではありません。「須坂健康の森 RV リゾート」は、当社が2023年5月に須坂市と締結した災害時協定に基づき、市の遊休地を活用して整備を進めてきた施設です。平時はトレーラーハウスを宿泊施設として活用しながら、有事には災害支援に転用できる体制を整えています。平時の観光・滞在利用と、災害時の備えを両立することで、地域に根ざした持続可能な防災備蓄のあり方を示す施設を目指します。

今後は、令和6年能登半島地震で応急仮設住宅として使用されたトレーラーハウスの一部も本施設に移設し、宿泊施設としての活用や、次の災害に備えた備蓄として活用していく予定です。



須坂健康の森RVリゾート

## 災害対応機能の強化 ～電気・水を備え、地域の支援拠点として機能する RV リゾートへ～

今回のリニューアルでは、施設内のトレーラーハウスを増設し、全 20 棟の体制とします。そのうち宿泊棟は従来の 7 棟から 14 棟へ拡充し、より多くの方にトレーラーハウスでの滞在を体験いただける施設へと生まれ変わります。

また、増設したトレーラーハウスには、日立建機株式会社と九州電力株式会社が共同開発した可搬式充電設備（大容量蓄電池）「Go-ENE」を接続します。当社の高断熱・省エネ型トレーラーハウスと組み合わせることで、停電時にも数日間の電源供給を可能とし、災害時の生活環境維持に必要な電力を確保します。

さらに、受水槽を設置して断水時にも施設に水を供給できる体制を整備します。電気と水の両面から災害対応機能を高めることで、トレーラーハウスの備蓄拠点としてだけでなく、この地域が被災した際にも地域の支援拠点として機能することを目指しています。今後は、隣接する「湯っ蔵んど」の温浴・飲食・避難支援機能とも連携し、停電・断水時の生活支援を含むより実効性の高い支援体制の構築を進めます。



## 隣接する「湯っ蔵んど」との一体的なエリア活用 ～温泉・宿泊・食・防災を結ぶ地域振興拠点へ～

須坂健康の森 RV リゾートに隣接するふれあい健康センター「湯っ蔵んど」は、温泉、飲食、物販、交流機能を備え、災害時には避難場所等としての活用も想定される地域の重要な施設です。須坂市が実施した無償譲渡に係る公募型プロポーザルにおいて、株式会社アールエスティー、岡田産業株式会社、株式会社カンバーランド・ジャパンの 3 社で構成する一般社団法人 MyQOL 健幸倶楽部が契約候補者として選定されました。

同法人では、温泉事業の維持・活性化、飲食事業の充実、地元農産物などの物販拡充、宿泊事業による滞在時間の延長、ヘルスツーリズムや二地域居住の促進などを進める計画です。RV リゾートと湯っ蔵んどを一体的に活用することで、温泉・宿泊・食・自然体験を組み合わせた滞在型エリアとして地域外からの集客を図り、地域振興に尽力します。

また、災害時には、温泉入浴、食料提供、避難場所、医療支援、オフグリッド電源供給などの機能を組み合わせ、地域の支援拠点として活用する計画です。トレーラーハウス、可搬式充電設備、受水槽、温浴施設を一体で運用することで、平時利用と災害対応を両立した防災支援拠点としての機能を高めていきます。

## 全国への発信 ～防災備蓄・災害支援・平時活用の一体化モデルを全国へ～

「須坂健康の森 RV リゾート」は、災害時に活用できるトレーラーハウスを平時から宿泊施設として運用することで、防災備蓄と地域活性化を両立する新たなモデルケースを目指しています。災害に備えて設備を保管するだけでなく、日常的に使い、維持し、地域に親しまれる形で備えることにより、いざという時にすぐ活用できる体制づくりにつなげます。

また、可搬式充電設備や受水槽を組み合わせることで、電気・水道などのライフラインが寸断された場合にも一定期間活用できる地域の支援拠点としての機能を高めていきます。湯っ蔵んどとの連携でさらに広く、様々な支援ができる施設を目指していきます。

当社では今後、この取り組みを「防災備蓄」「災害支援拠点」「平時の活用」を一体化した防災まちづくりのモデルとして全国へ発信し、自治体、企業、関係団体などさまざまなパートナーと連携しながら、災害に強く、平時には地域振興につながる拠点づくりを推進してまいります。

## リニューアルオープン式典

【日時】2026年6月13日（土）午前10時～

【場所】須坂健康の森 RV リゾート（須坂市大字仁礼7番地、湯つ蔵んど隣）

【内容】施設概要説明・当社代表挨拶・来賓ご挨拶（須坂市長様、協力企業様）など

【撮影可能な施設】各棟のトレーラーハウス、可搬式充電設備、受水槽、災害医療用テント\*

\*当日は発災時を想定した緊急災害時用テントを設置します

ご取材いただける場合は前日までにページ下部の  
問い合わせ先へご一報いただけますようお願いいたします

緊急災害時用テント  
「ウエスタンシェルター」



## 株式会社カンバーランド・ジャパンについて

### 【会社概要】

社名：株式会社カンバーランド・ジャパン

本社所在地：〒389-1104 長野県長野市豊野町浅野 1778

代表取締役：原田英世

事業内容：トレーラーハウス製造販売ほか

創業：1994年

HP：<http://www.thno1.com>



トレーラーハウスの輸入販売会社として創業。米国製品の輸入販売から始まり、2004年からは自社製造を始めた。屋上や床暖房などトレーラーハウスに関する特許も取得。全国に販売協力店・販売代理店を展開し、トレーラーハウスの普及と災害備蓄の拡充を推進している。

トレーラーハウスの機動性・快適性をいかして阪神淡路大震災以降、大規模災害でトレーラーハウスを活用した支援を続けている。2019年の台風19号災害で自らの工場や展示場が被災した際も、長野市で仮設住宅などとしてトレーラーハウスを提供した。令和6年能登半島地震では応急仮設住宅などとして約80台のトレーラーハウスを被災地に提供している（日本RV・トレーラーハウス協会として）。



令和6年能登半島地震・トレーラーハウスによる応急仮設住宅「とぎ第一団地」  
2年間の役割を終えて撤去され、被災者の住宅用や宿泊施設などとして再び活用される

<お問い合わせ先> 株式会社カンバーランド・ジャパン 担当：宮林

TEL：会社 026-257-2000 携帯 080-1411-5814 MAIL：[miyabayashi@cumberlandjapan.co.jp](mailto:miyabayashi@cumberlandjapan.co.jp)